

平成 31 年度 (2019 年度)

富山大学経済学部

私費外国人留学生入試

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題を開かないこと。
2. 試験問題は全部で 5 ページ、解答用紙は 3 枚、下書き用紙は 1 枚である。
試験開始の合図があってから確認すること。
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、解答用紙の汚れなどがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
3. 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。
氏名を書いてはいけない。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
解答用紙に解答を記入する際には、以下の点に注意すること。
①簡体字による解答は減点の対象となる。
②解答はすべて横書きで書くこと。
③解答用紙の所定欄以外に記入した解答は、採点の対象としない。
5. 配付された試験問題および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
31.2.25
富山大学

問題 1

次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

著作物引用箇所のため非公開

問1

なぜ個人情報に価値があるかについて、本文に即して60字以内で答えなさい。

問2

下線部①の「この機能」とは具体的に何か，について30字以内で答えなさい。

問3

下線部②のように「情報が一種の『通貨』として機能」するとは，具体的にどのようなことを意味しているか，について50字以内で答えなさい。

問4

人工知能の「神格化」によって，人間にどのような影響があるか，について40字以内で答えなさい。

問5

下線部③の「それが社会全体の効率化や価値の最大化につながっていたとしても，人間の自由意思（間違える権利と言い換えられるかもしれない）がどこまで是認されるのか」の問いについて，解答者の見解を300字以内で論じなさい。

問題 2

次の文章を読み, 設問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

(出典: 福田慎一『21 世紀の長期停滞論』, 平凡社, 2018 年, 53~54 頁)

※ピケティ(Thomas Piketty, 1971 年~。フランスの経済学者。)

問 1

筆者は, 下線部①の「長期停滞をもたらす第四の要因が, 世界的な所得格差の拡大である」と述べている。所得格差の拡大が長期停滞をもたらすメカニズムを筆者はどのように説明しているか, 120 字以内で述べなさい。

問 2

下線部②の「消費性向」とは何か。本文中の言葉を用いて, 20 字以内で述べなさい。

問 3

一般に、消費性向は低所得者と高所得者で異なる。その理由を、100 字以内で述べなさい。

下書き用紙

見本